

米国環境保護庁
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2011年2月14日

ENERGY STAR コンピュータ関係者または他の関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）は、添付のENERGY STAR®コンピュータ基準バージョン6.0の第1草案に対する意見を歓迎する。第1草案に対する意見は、**2012年3月13日**までにEPAに提出すること。

本草案には、ENERGY STARコンピュータ試験方法の修正案に対する、およびENERGY STARのコンピュータ協議資料に対する関係者の意見が取り入れられている。課題や重要な協議事項については、草案全体にわたり注記枠において示されている。以下の一覧は、第1草案における主な内容を説明するものである。

- 定義の更新：定義および用語の主な変更点には、以下のものが含まれる。
 - コンピュータ：ウルトラシンクライアントおよびシンクライアントを考慮し、適さなくなった入力方式（デジタイザおよびゲームコントローラ）を削除し、入力方式の選択肢としてタッチパッドを追加するために、定義が修正された。
 - ノートブックコンピュータ：ノートブックコンピュータ区分の対象をより明確にするために、スレートコンピュータ機器およびタブレットの説明が、モバイルシンクライアントと共に、ノートブックコンピュータ定義の一部として追加された。
 - シンクライアント：一体型シンクライアントおよびウルトラシンクライアントの説明が、シンクライアントの下に記載された。
 - アイドル状態：Ecma-383規格の定義に基づいた短期アイドルおよび長期アイドルの定義が追加された。
- 対象範囲：プログラム全体の対象範囲は、タブレットおよびスレートコンピュータに関する説明が追加されたこと、一体型シンクライアントおよびウルトラシンクライアントの件が未定のままであることの2点を除いて、バージョン5と一致している。
- デスクトップおよびノートブック要件：デスクトップ、一体型デスクトップ、およびノートブックコンピュータ区分に対する要件は、以下の要因を考慮するように修正された。基準値の算出に使用されたデータは、ENERGY STARバージョン5適合データと、データ収集過程において関係者が提出したデータを統合したものである。
 - 製品区分：デスクトップおよびノートブック製品機種に関して、区分構成は、ECMA-383規格の策定作業において提案されたものと一致している（これらの策定を導く登録手続については、2つ目の規格であるECMA-389において対処されている）。第1草案において、EPAは、これらの区分に基づいてデータを分析し、対応する基準値を提案している。
 - TEC測定基準：今回のTEC算出に使用される計算式には短期アイドルが組込まれている。短期アイドルは、一体型ディスプレイを有する製品のTEC評価の精度を向上させることができる。各モードの比率は、Ecma-383規格の追加資料における参照資料と整合している。
 - グラフィックス：独立型グラフィックス追加機能に対する区分方式は、Ecma-383/389の取り組みにおいて提案された構成と一致している。

- **一体型ディスプレイ**：一体型デスクトップおよびノートブックの両方に見られる一体型ディスプレイに関して、ENERGY STARディスプレイプログラムに示されている基準値に基づいた許容値が策定された。この方針を取ることで、効率性に優れたディスプレイ技術の使用が促進され、一体型デスクトップコンピュータとデスクトップコンピュータを直接比較できるようになり、異なる大きさのディスプレイを有するノートブック間の比較ができるようになる。
- **ワークステーション**：稼働状態の効率情報を報告する要件は、ワークステーションの購入者や使用者に対する情報提供を目的に提案されている。なおEPAは、バージョン6.0に稼働状態を使用したTEC要件を含めることは提案していない。
- **小型サーバー**：搭載ストレージ要素（ハードドライブまたは半導体ドライブ）の数に対する許容値を伴う、単一の基本アイドル消費電力基準値が、すべての小型サーバーに対して提案されている。
- **シンクライアント**：EPAは、バージョン6.0に関して、区分間の違いにスリープモード能力を使用することを提案する。この方法により、シンクライアントにおける低電力モードの採用および開発が奨励され（試験データにより、収集したデータのうちの40%未満の機器しかスリープ能力を持っていないことが明らかにされた）、スリープモードを持たない以前の区分B製品に対してより厳しいアイドル時消費電力目標を与えることができると、EPAは考えている。オフモードについては、2013年早期に発効予定のEU規制案を考慮し、それと同様の水準である0.5Wが提案されている。
- **基本毒性および再利用性要件**：EPAは今後も製品のエネルギー消費効率を主要な差別化要因として利用し続けるが、その一方でEPAは、エネルギー性能だけでなく価値や特性についても、ENERGY STARラベルが期待に応えることを消費者が求めていると考えている。毒性および再利用性に関する基本基準を提案することにより、ENERGY STARプログラムは、低品質すなわち望ましくない製品モデルとラベルが関連付くことを回避するように努めており、そうすることによって市場におけるラベルの影響を維持できるようになる。第三者認証に関する関係者意見に応じて、EPAは、これら要件がENERGY STAR第三者認証手続の対象外であることを明確にした。さらにEPAは、関係者意見に応じて、ここに提示されているエネルギーに関連しない要件については、国際的な適用が意図されていないことを明確にする文言を追加した。

関係者は、第1草案を検討し、2012年3月13日までにcomputers@energystar.gov宛に意見を提出することが奨励される。 現在までの基準策定活動に関する情報については、ENERGY STAR基準策定ウェブサイト

(www.energystar.gov/RevisedSpecs) の「Computers」リンクを選択すること。EPAは、2012年3月1日に、本草案の主な内容について協議し、関係者の意見に答えるために、オンライン会議を開催する予定である。このオンライン会議に参加するためには、参加者の連絡先を記載し、件名を「RSVP」とした電子メールをcomputers@energystar.gov宛に送信して登録の手続を行うこと。詳細は会議の直前に参加者に対して送信される。

ENERGY STARプログラムへの継続的な支持に感謝する。関係者の参加は、有意義な基準を策定することにおいて、またENERGY STAR全体の成功にとって不可欠である。質問や意見がある場合には、EPAのRobert Meyers (Meyers.Robert@epa.gov または 202-343-9923) に連絡してほしい。

Sincerely,

Robert Meyers
Product Manager, ENERGY STAR Computers